



交通安全だより

第126号 平成29年9月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 Tel.211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>

交 通
安 全

セーフティさっぽろ

秋の交通安全市民総ぐるみ運動にご協力ください！

期間：9月21日～9月30日

《全国一斉》

運動の重点

● 子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止

● 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

● 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

● 飲酒運転の根絶

9月30日（土）は 「交通事故死ゼロを目指す日」です

平成20年から新たな国民運動の一つとして4月10日と9月30日が「交通事故死ゼロを目指す日」に設けられました。国民一人一人が、交通ルールを守り、交通マナーを実践することによって、交通事故の発生を抑制し、交通事故死傷者数を減少させることを目的とした運動です。

みなさまもこの機会に、職場での交通安全研修や、ご家庭で交通安全について話し合う日としてみましょう。



見えることは安全につながる

夜光反射材

のお話

夜光反射材の効果

夜光反射材は、再帰反射という性質を持つ素材です。再帰反射とは、普通の反射と異なり光がどのような方向から当たっても光源に向かってそのまま反射するように光学的に工夫した反射方法です。

これを身に付けていると、車のヘッドライトの光が当たるととても明るく光って見えるので、右の写真のように車のドライバーは夜光反射材を身に付けた人を遠くからでも見つけることができるわけです。



明るいところではこんな感じ・・・手首に反射リストバンドを付けています

夜間の視認性

夜間、ドライバーから歩行者が見える距離は服の色によっても異なります。

車のヘッドライトを下向きにしたとき、黒っぽい色で約26m、明るい色で約38mとされています。

ドライバーが歩行者を発見して車が止まれるまでの距離は、乾いた路面を時速60kmで走行していて約44m

ですから、明るい服装でも交通事故に遭う危険性があります。夜光反射材を身に付けている場合は約57m以上の視認性がありますから、反射材を身に付けていないときと比べ安全性が格段に高くなります。



暗い所で車のライトが当たると反射材がピカッと光ります！

■夜間、車から歩行者が見える距離

(視認距離は実験により異なる場合があります)



夜光反射材は、リストバンドやキーホルダー、靴や鞆に貼るシール、自転車に取り付けるリフレクター、夜光反射材付エコバッグなど、さまざまな種類があります。

これらは、100円ショップやホームセンターなどで買うことができます。

あなたのお気に入りを見つけて、ぜひ身に付けましょう！！

(写真の夜光反射材グッズなどは、当委員会で差し上げることができます)



命を守る 早めのライトと反射材